

## 「やってみることが大事」

校長 杉村 英樹

残暑が厳しい中スタートした2学期の始業式では、「長い2学期ですが、『努力は実る』と信じ、自分の成長につながると思うことや周りの人を笑顔にできることを考えて、『負けず くじけず あきらめず』どんどんやっていきましょう。」と子どもたちに話をしました。2学期の4か月間で、新たなチャレンジをしたり、こつこつと努力を積み重ねたりする北久米っ子の姿をたくさん見ることができ、一人一人の成長が実感できる、実りある学期になったと思います。

さて、2024年も残すところあと数日になりました。この1年間で、国内外において様々な出来事がありましたが、10大ニュースの一つとしてメジャーリーガー：大谷翔平選手の活躍が挙げられるのではないのでしょうか。2018年シーズン以降、ロサンゼルス・エンゼルスの一員として活躍し続け、2022年8月9日には、ベーブ・ルース以来104年ぶりの2桁勝利・2桁本塁打を達成しました。2023年は、アメリカン・リーグで日本選手初の本塁打王を獲得し、最優秀選手(MVP)を2年ぶりに受賞しました。9月20日には右ひじの手術を受け、12月にロサンゼルス・ドジャースに移籍し、2024年シーズンは指名打者に専念しました。そして、メジャーリーグ初の「1シーズン50本塁打、50盗塁」を達成、本塁打王と打点王を獲得し、レギュラーシーズンとポストシーズンを通じて自身初及びチームのワールドシリーズ制覇に大きく貢献しました。

不可能と言われていた投打の「二刀流」をメジャーで成功させ、更には未知の領域だった「50-50」すらも通過点とした大谷選手に影響を与えた母校の恩師の言葉があります。それは、「先入観は可能を不可能にする」です。新たな壁に挑み、その壁を越えていく大谷選手は、この言葉のとおり、これまでの野球に対する「先入観」を超えて、不可能と思える(思われる)ような目標であっても実現を信じ、努力を重ねてきたからこそ、このような偉業を成し得ることができたのだと思います。大谷選手の前向きな姿勢を通して、先入観にとらわれてはいけないのだと改めて思いました。子どもたち一人一人のよさや可能性を引き出し、伸ばしていくために、先入観にとらわれることなく、子どもたちの「やってみよう」を応援していきたいと思います。そのためにも、今後も引き続き、息を合わせた「つながる教育活動」を推進していくことができるよう、ご協力とご支援をお願いいたします。

## 人権・同和教育

11月19日の人権・同和教育参観日には、平日にもかかわらず多数の保護者の皆様に参観していただき、ありがとうございました。人権教育だよりでお知らせしたように各学級で人権・同和教育の視点に立った授業を公開しました。子どもたちは、友達へのよりよい関わり方、仲よく生活することのよさ、自分のよさに気付き伸ばそうとする心など、大切なことを学習することができました。保護者の方からも、たくさんの感想をいただきました。一部ですがご紹介します。

- ・自分と同じように、周りのみんなも大切。みんなと同じように、自分も大切ということ、子どもたちなりに考えるよい機会になった。
- ・改めて、自分の言葉遣いも振り返るよい機会となった。子どもの手本になれるようにしたい。
- ・授業を通じて、子どもたちが、他者に寄り添い、差別や偏見のない社会の実現に向けて行動しようとする姿勢が感じられ、感銘を受けた。

心温まる感想をありがとうございました。今後も人権を大切に子どもを育てていきます。

# 委員会活動の紹介

5・6年生いつも  
ありがとう!

北久米小学校の学校生活を、毎日支えてくれている委員会活動の様子を紹介します。

## 給食委員会

給食委員会は、毎日お昼の放送で献立、栄養、配膳の仕方などを伝えたり、給食の後片付けを手伝ったりしています。そして、毎月“食べ残しゼロウィーク”を設定し、全校で残食が減るよう呼び掛けてきました。「完食目指して頑張ろう」という意欲を高めるために、結果の掲示、放送での紹介もしています。また、3学期に実施される給食感謝週間に向けての、アンケートやクイズ、プレゼント作りなど様々な企画を考え、準備を進めています。

全校児童が、給食に関わる方々への感謝の気持ちを高め、食べ物大切さを実感できる期間となるよう頑張ります。

## 図書委員会

図書委員会は、朝は、図書室の窓開けやパソコンの立ち上げ、昼休みは、貸し出しや返却の手伝い、本棚の整頓や窓閉めなどを行っています。

「めざせ100さつ」を合言葉に、図書室利用の向上を目指して、読み聞かせや図書クイズ、おすすめの本紹介、ポップやポスター掲示などを行っています。11月の読書月間には、スタンプラリーや読書の木くじ引き、人気本ランキング、多読者発表などをして、連日図書室がにぎわいました。全校児童から募集して決定した図書室キャラクター「ブックねこ」も大活躍しています。

多くの人の図書室利用を目指します。

## 栽培・飼育委員会

栽培・飼育委員会では、花苗の水やりや花詰みや、全校で取り組む一人一鉢運動の手助けをしたり、ウサギの世話をしたりしています。

これらの活動を通して、うれしいことにどの子たちも優しい気持ちをもって「命」と触れ合い、命の大切さを感じることができています。

花いっぱい北久米小学校になるよう一人一鉢の植え替えも終わりました。ビオラやパンジーと色合いも豊かです。これから子どもたちがどのように育てていくのか、どんな花を咲かせてくれるのかとても楽しみです。

## 保健委員会

保健委員会は、北久米っ子が元気に過ごすことを目指して活動しています。

週に2回、各担当場所の石けん液とトイレトペーパーを補充します。また、身だしなみを整えて衛生的に過ごせるように、ハンカチ・ティッシュ・名札・短いつめ・防犯笛の「はてなつぼ」が整うように啓発活動をしています。

さらに、季節に応じて体調管理をする上で気を付けるとよいことや、健康に対する豆知識を放送で知らせています。北久米っ子の健康への意識を更に高めていきたいです。

## 冬の学力向上

北久米小学校では、「きらきら北久米っ子ウィーク」として、学習の取組について振り返る期間を設けています。学習に向かうにあたり、大切な三つの構えを整えられるようにしたいと思います。

- ① 「身構え」元気な体でいること
- ② 「心構え」勉強するぞという気持ちでいること
- ③ 「物構え」必要なものがそろっていること

ご家庭でも、学習の取組を振り返っていただくとともに、必要な環境になるよう、配慮していただければと思います。

- ・ 学習に必要なものがそろっているでしょうか。
- ・ 鉛筆、消しゴム、下敷きなどを大切に扱い、準備できているでしょうか。

3学期からのよい習慣につながるよう、お声掛けをお願いします。